

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	小土地改良事業	担当課	建設課
事業内容(簡潔に)	老朽化した農道、農業用排水路を改修し、生産基盤の整備を図る事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり	
	政策	地域の特産品を活かしたまちづくり	
	施策	農林業生産基盤の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	土地改良法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	農道拡幅、用排水路整備を実施し生産基盤を強化することにより、維持管理の省力化を図り、耕作放棄地の削減、農業生産性の向上に繋がることを目的とする。
事業の手段	農業用施設の老朽化が進んでいるため、地区からの改修要望に基づいて事業効果、危険度の高い箇所を判断し、請負工事、維持工事、7割補助、原材料支給などを活用し、順次実施しているところであります。また、補助事業に適合される箇所については積極的に取り入れ有効活用しています。
事業の対象	担い手農家を中心に農業用施設を利用する市民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	104,845	86,361	93,532
財源内訳	国・県支出金	30,000	30,945	32,515
	その他(使用料・借入金ほか)	0	2,000	2,838
	一般財源	74,845	53,416	58,179
B	担当職員数(職員E) (人)	1.1	1.1	1.1
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	7,387	7,233	7,240
D	総事業費(A+C) (千円)	112,232	93,594	100,772
主な事業費用の説明	工事請負費 R1 74,734千円、R2 62,337千円、R3 65,516千円			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 基盤整備箇所全体延長	全整備延長(m)	1,877	1,102	1,248
	2	道路(m)	313	217	442
	3	水路(m)	1,564	885	806
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	道路については、幹線は請負工事、その他地元対応可能路線は、7割補助、原材料支給を活用し整備した。			
	2				
	3	水路については、老朽化が激しく、事業効果の高い箇所の整備、また施設の延命化を図る修繕をした。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	1 箇所当たりの整備費 (千円)	2,621 (104,845/ 40 箇所)	2,399 (86,361/3 6 箇所)	2,126 (93,532/4 4 箇所)
	2	地区要望に対する達成率 (%)	55.6 (40/72)	62.1 (36/58)	48.9 (44/90)
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	地区からの要望を基に、緊急度の高い農道や農業用水路の改良修繕を行い、農家経営の省力化及び、農業生産性が向上しているのが妥当である。			
	2	緊急性の高い農業施設の改良修繕ができ成果が上がっているが、老朽化した施設が多く、地区要望が増大しているため効果が見えにくくなっている。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)				
	令和4年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 老朽化した施設の改修を促進するために国の補助事業 (農業基盤整備促進事業等) を有効的に利用し整備するとともに、県営事業等を取り入れて事業実施できるよう地元地区に働きかけていく。また、軽微な補修箇所については地区活動の推進を行い、多面的機能支払事業、原材料の支給、7割補助事業にて対応する。				
改善の経過	予定していた箇所、緊急対応必要箇所について工事実施し、地区の期待どおりに達成できた。				
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	緊急度が高く受益面積の大きな箇所については、国の補助事業 (農業基盤整備促進事業等) を有効的に利用し整備するとともに、県営事業等を取り入れて事業実施できるよう地元地区に働きかけていく。また、軽微な補修箇所については地区活動の推進を行い、多面的機能支払事業、原材料の支給、7割補助にて対応する。			
	外部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金事業などの周知を広げ、地区活動の推進がより一層図れるよう対応していきます。 また、引続き、農道、水路等の生産基盤の強化につながる改修を実施していきます。			
課長所見	地域からの要望を精査し、緊急性や他事業による対応での可否を検討したうえで、迅速に対応していく。				